

2020/4/5-4/11相場見通し

品目		
鉢 花	鉢花	4月に入ったがコロナの状況は日に日に深刻となっており、ますます相場はきつくなっている。入学式需要でリーガースベゴニアやサイネリアは引きがあったが、一般花鉢は大苦戦中。天気は良いのでめげずに週明けに荷を集めていきたい。
	苗物	マリー・ペチュ・バーベナなど数量のあるメインの商材が非常に厳しくなっている。特にペチュはまったく値がつかないのもでてきた。厳しい状況の中だが来週はポットプランツコンテストとなる。イベントで少しでも悪い流れを取り戻したい。
観 葉	大鉢・中鉢	概ね売れているがヤシ類は厳しい。ジャマイカ・インディア・ツピタンなど朴ものの観葉は好調 モンステラやオーガスタなど葉物の中鉢も順調な流れ。
	小鉢	小鉢は全般的にきつく、特に花物系観葉が弱い。
	ポット	サボテン類はまずまずであったが、全般的に厳しい。
洋 蘭	コチョウラン	3月末までの売れ行きは嘘のようで一気に先週の半値以下まで相場が下落してしまっている。5Fも数が出たので単価が維持できない状況。
	その他	数量は少ないものの売れは厳しい。
	総括	年度末需要も落ち着き、前半は数量もあったためかなりの相場崩れとなった。 例年はもう少し先まで売れていたが今年に関しては先行きが厳しい。

販売状況コメント

3月末の外出自粛要請および4月1日の降雪の影響で悪い流れのまま4月に突入してしまった。

4月に入り入荷量は全体で昨年対比7割程度しかないが相場は厳しい。3月下旬まで好調だったコチョウランも一気に売れが止まってしまった。観葉類は大鉢はまずまずだが、小鉢やケースものは厳しく、特に花物観葉はきつい。

特にきついのは花鉢で入荷が増えてきたクレマチス・ハイドランジアが非常に売れが悪い。苗ものも出荷の多いペチュニアとマリーゴールドが厳しい。全般的に主要品目の動きが悪いので厳しい販売状況となっている。

コロナの騒動がひと段落するまでは辛抱の時期が続きそうだ。

(株)フラワーオークションジャパン